

UCHIKARA プロジェクト

手軽に省エネ生活を実践する実証事業

結果報告

Nature 株式会社

実施概要

実証は以下の通りの要項で実施した。

実証期間： 2025年7月～8月

提供機器：
Nature Remo E2 lite（電力見える化機器）
Nature Remo Lapis（スマートリモコン）

参加者は事前に4つのグループに振り分け、提供する機器や節電通知の有無などの条件を分けて比較実証を行った。

グループごとの実施条件は下記の通り。

表1 実証グループ実施条件

グループ	提供機器	節電の通知
G1: 電力量見える化	Nature Remo E2 lite	行わない
G2: 電力量見える化+行動変容通知	Nature Remo E2 lite	行う
G3: 機器制御+行動変容通知	Nature Remo Lapis	行う
G4: 電力量見える化+機器制御+行動変容通知	Nature Remo E2 lite Nature Remo Lapis	行う

G3は Nature Remo E2 lite を提供しないため、B ルートでの消費電力量取得ができない。そのため、東京ガスの DR プログラム参加者を G3に振り分け、東京ガスより A ルートのデータを取得して評価した。

G3以外のグループに関しては Nature Remo E2 lite にて B ルートで取得した電力量データを集計し、節電実績の評価を行った。

機器登録状況

グループごとの機器登録状況および最終的な参加者総数は下表の通りとなった。

Nature Remo E2 lite および Nature Remo Lapis ともに、最終的に8割～9割の参加者が機器のセットアップを完了した。Nature Remo E2 lite の場合、電力量を取得するためにはさらに B ルートの設定も行う必要があるが、B ルート設定まで含めると 80.1% (230/287) の完了率となった。

なお当初予定では実証参加者は400名を募り各グループに100名を割り振る予定であったが、16名の辞退者が出来たため、最終的な参加人数は384名となった。

表2 機器登録状況と参加者総数

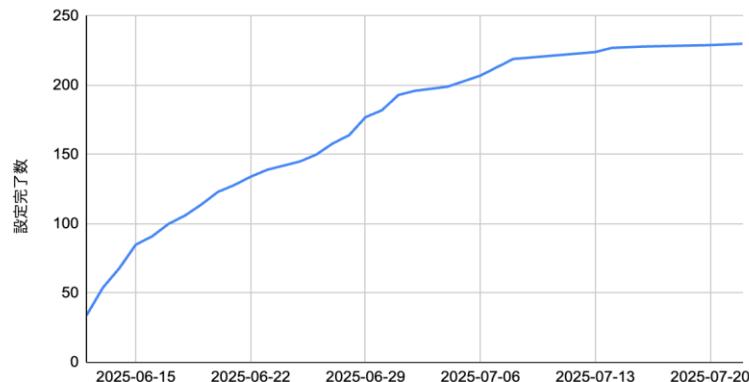
実証グループ	Nature Remo E2 lite	B ルート設定	Nature Remo Lapis	参加者数小計	参加者数総数
G1	登録なし	-	(提供なし)	11	95
	登録あり	未完了	(提供なし)	11	
		完了	(提供なし)	73	
G2	登録なし	-	(提供なし)	5	95
	登録あり	未完了	(提供なし)	11	
		完了	(提供なし)	79	
G3	(提供なし)	-	登録なし	4	97
	(提供なし)	-	登録あり	93	
G4	登録なし	-	登録なし	6	97
			登録あり	4	
	登録あり	未完了	登録なし	3	
			登録あり	6	
		完了	登録なし	4	
			登録あり	74	

有効な消費電力量データ数

参加世帯の消費電力量のデータを取得するためには、G1、G2、G4の場合はBルートの設定まで完了させる必要がある。前述の通り230名の参加者がBルートの設定まで完了し、データの取得が可能な状態となっていた。なお、Bルートの設定完了数は下記の通りの進捗となっており、6/20時点で過半数となる123名の登録が完了している。

図1 Bルート設定完了数の推移

Bルート設定完了数の推移



本実証では7月8月の節電を呼びかけてその効果を検証する。節電量の評価にあたっては、本実証に参加しない一般世帯との評価も行うが、節電グループごとの成果を見ていくにあたっては母集団が少なくなりすぎるため、それぞれのグループの実証開始前後の消費電力量を比較するほうが適切であると考えた。

そのため、6月の消費電力に関しても、十分なBルートサンプルが確保できる21日～30日のデータを使用して評価することとした。

下記の条件を満たす参加者のデータを、それぞれ6月、7月、8月の集計に含めることとする。

6月分: 6/20までにBルート設定が完了している

7月分: 6/30までにBルート設定が完了している

8月分: 7/31までにBルート設定が完了している

最終的なデータ数は下表の通りとなった。

表3 有効な消費電力量データ数

実証グループ	参加者数	6月集計対象	7月集計対象	8月集計対象
G1	95	37	52	70
G2	95	41	65	77
G3 (Aルート)	97	97	97	97
G4	97	44	64	76
Total	384	219	278	320

前述の参加者統計といつか矛盾点があるが、その原因は下記の通り。

6月20日時点でのBルート設定完了総数は123であったが、そのうち1名はBルートの取得が止まってしまっていたため6月の集計対象には含まれず、結果1名少ない122（G3も含めた全体合計は219）となっている。最終的にBルート設定を完了した参加者は230であるが、上述の6月中の離脱者含め系7名の離脱が発生していたため、8月の集計に含まれる参加者は223（G3も含めた全体合計は320）となった。

6月のデータの妥当性について

6月のデータはサンプル数が少ないが、全体の半数強は取れていること、および以下の世帯タイプ区分で分割した際の構成比が母集団と著しい乖離がないことから、信憑性に問題はないものと判断した。

表4 世帯タイプ区分

世帯タイプ1	1~2人・戸建
世帯タイプ2	3人以上・戸建
世帯タイプ3	1~2人・集合
世帯タイプ4	3人以上・集合

表5 実証グループ・世帯タイプごとの6月集計対象数および集計対象全体数

実証グループ	世帯タイプ	6月集計対象	全体
G1	1	4	9
	2	4	9
	3	22	39
	4	7	13
G2	1	7	12
	2	5	13
	3	27	46
	4	2	8
G4	1	10	16
	2	7	12
	3	24	45
	4	3	4

実証結果

各実証グループごとの結果は下表の通り。

各月とも1世帯・1ヶ月あたり消費電力量を算出している。6月については21日以降のデータが対象となるが、日数で割り戻して1ヶ月単位の消費電力としている。A ルートで電力量を取得している G3 の参加者についても、条件を合わせるため同様に6月21日以降のデータから1ヶ月分を算出。

実証前の6月の消費電力量と、実証期間中の7月8月の平均値を比較し、その上昇量が6月の数値と比してどの程度であったかを比較することで、節電の成果比較を試みた。

表6 実証グループごとの消費電力量と変動比

実証グループ	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
1	321.4	371.4	441.1	406.3	84.9	26.42%
2	291.7	336.0	368.3	352.2	60.4	20.71%
3	328.0	371.3	407.2	389.3	61.2	18.67%
4	311.5	343.4	370.3	356.9	45.3	14.56%
全体	316.8	356.8	396.5	376.7	59.8	18.89%

比較対象の一般世帯について

また比較対象の一般世帯の数値として、今夏の東京ガス DR 参加者のうち世田谷区に在住する人の電力量を**6月のデータの妥当性について**の項で示した世帯タイプごとに集計し、本実証の集計対象者の世帯タイプに合わせて加重平均を取ったものを採用した。

表7 実証参加者全体と一般世帯の比較

グループ	集計対象数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
本実証	327	316.8	356.8	396.5	376.7	59.9	+18.89%
一般世帯 ※	約 15,000	313.2	367	405.8	386.4	73.2	+23.37%
本実証実績の 一般世帯比		+1.15%	-2.78%	-2.29%	-2.52%	-18.24%	-4.48pt

※東京ガス DR 参加者のうち世田谷区在住者の実績を世帯タイプごとに集計し、本実証参加者の世帯構成に合わせて加重平均を取った。

一般世帯との比較結果

まず本実証参加者全体の成果であるが、一般世帯の実績と比較して、実証期間中の7月8月の消費電力量は、絶対量で -2.52% の減少が認められた。また6月からの上昇量の比較では -4.48pt となった。

実証グループ別で見ると、G2およびG4については、全体的に一般世帯に比べて良い実績となっている。

G3は実証期間中の7月8月中の消費電力量に関しては一般世帯よりもやや多い結果となっているが、6月の消費電力がやや多いことからもともと消費電力の多い傾向の参加者が多かったことが考えられる。変動比で見ると一般世帯よりも低く抑えられている。

G1は消費電力の絶対量、Nature Remo E2 lite の配布のみで行動変容は伴っていないので、節電の動機が薄かったということが考えられる。Nature Remo E2 lite はあくまでも消費電力（買電量）を可視化するものであって、直接節電に貢献する機能は持たないため、参加者の意思でどう使うかということが肝要であると解釈される。

また今夏、特に8月は例年に比べ非常に高温であったため、アンケート回答でも見受けられる通り節電の実施を働きかけられない限りは、エアコンの稼働を抑えるという動機に乏しかったことが考えられる。家電の中でも特にエアコンの消費電力は大きいため、この影響は無視できない。

通知の効果について

アプリから送信している節電通知に関して、アンケートにて「週1回、アプリやメールでお送りした通知を見ましたか？」とお尋ねしたが、その回答結果と実際の成果の集計を行った結果が下表となる。

消費電力の多い人ほど通知を見るという興味深い傾向が見られたほか、6月からの変動比で見ると、通知を受けた人のほうが消費電力の上昇を抑えられているという結果となっている。

なお、通知の内容に関してのアンケート結果と消費電力のクロス分析結果（次の章で提示）を見る限り、コンテンツが節電に役立ったとは言いがたい。通知そのもので気づきを与え、節電方法自体は参加者各々が自ら考えて実践したケースが多いのであろうと思われる。

表8 通知を見た頻度ごとの消費電力量と変動比

通知を見たか	参加者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
毎回見た	44	341.4	387.7	433.6	410.7	69.3	20.28%
大体見た	66	336.7	394.0	428.0	411.0	74.3	22.07%
ほとんど見ていない	15	321.9	371.7	408.0	389.9	68.0	21.11%
まったく見ていない	8	256.7	303.3	344.3	323.8	67.1	26.14%
通知を見ていない	30	281.8	327.6	373.0	350.3	68.5	24.31%

参加者数はアンケート回答者のうち消費電力集計可能者を対象としている

Nature Remo Lapis の節電貢献

今回節電のためのツールとして提供している Nature Remo Lapis には、自動でエアコンの温度を調整することで消費電力を抑える「オートエコ」機能が搭載されている。

本実証参加者の皆様にもこの機能を活用いただいていたが、実際の効果を確認するため、Nature Remo Lapis のみで節電を行う取り組みをしている実証グループ3の参加者で比較した結果が下表である。

オートエコ機能が完走した（発動した際に温度を手動で戻すなどして中断しなかった）時間数の1日あたり平均で参加者をグループ分けし、それぞれの消費電力量および変動比を算出すると下表の通りとなる。

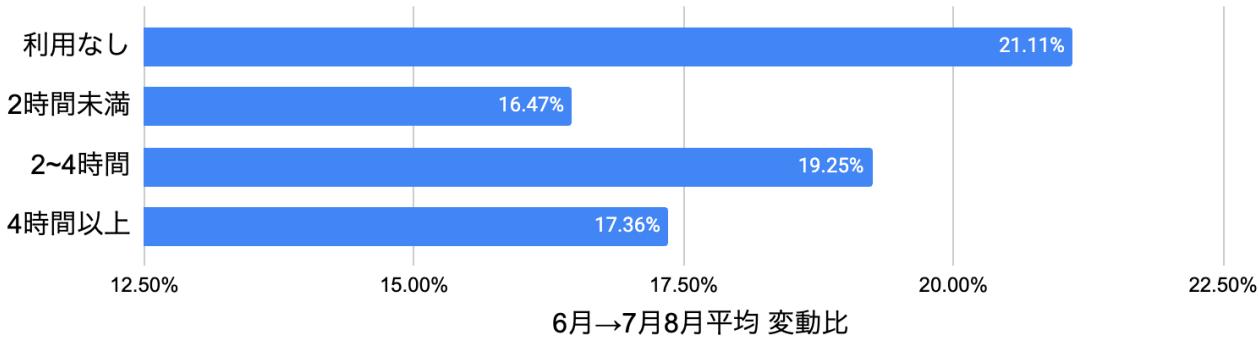
オートエコ機能の完走時間と消費電力の増加量は負の相関が見られ、節電のための機能として有効に機能していることが窺える。

表9 オートエコ機能完走時間ごとの消費電力量と変動比

オートエコ 完走時間/日	参加者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
利用なし	26	346.8	390.7	449.3	420.0	73.2	21.11%
2時間未満	21	345.5	389.5	415.4	402.4	56.9	16.47%
2~4時間	29	305.6	353.6	375.2	364.4	58.8	19.25%
4時間以上	24	319.2	355.7	393.5	374.6	55.4	17.36%

図2 オートエコ機能の1日平均完走時間×消費電力の6月比上昇割合

オートエコ機能の1日平均完走時間 × 消費電力の6月比上昇割合



Nature Remo E2 lite の見える化機能の貢献

今回、電力量の見える化ツールとして Nature Remo E2 lite を提供している。対象者の方へのアンケートで「活用した機能や便利だった機能を教えてください。（複数回答可）」とお尋ねしたが、その回答結果と実際の成果の集計を行った結果が下表となる。集計対象は G1、G2、G4のアンケート回答者で、かつ6月～8月のデータが揃っている99名。

興味深い傾向が見えており、リアルタイムの電力使用量が見られることに興味を示している方は節電できていないケースが多いのに対し、前週前月比較やグラフ表示、日・週・月・年ごとの表示などの機能を活用した人はしっかりと節電に繋がっている。

リアルタイムの数値確認機能は Nature Remo E2 lite の目玉機能であり、スマートフォンアプリの「エネルギー」タブを開いた際にまず目に入るよう作られている。従って利用のハードルが低く、また普段知る機会の少ない各家電の実際の消費電力を知ることができるということもあり、節電の意向とは関係なく単に興味本位で使う参加者も多かったのではないかと思われる。実際にアンケートの自由記述では、思わぬ家電の消費電力に驚いたという記述もみられる。

見える化機能は単に使うだけではなく、機能を深く使い込んで過去との比較や曜日ごとの傾向などを知り、計画的に節電を行うことが重要であることがわかる。

表10 見える化機器の活用した機能・便利だった機能ごとの消費電力量と変動比

活用した機能や便利だった機能	選択した人の 6月からの変動	非選択の人の 6月からの変動	差分
リアルタイムの電力使用量が見られること	24.38%	23.69%	-0.69pt
前週・前月との比較ができること	19.88%	26.42%	+6.55pt
家電ごとの消費電力と電気代の見える化機能	23.49%	24.30%	+0.81pt
数値だけでなくグラフで表示されること	23.37%	24.85%	+1.49pt
日・週・月・年ごとの電力使用量・電気代が見られること	22.03%	26.39%	+4.37pt
条件設定によるオートメーション機能	26.00%	23.95%	-2.06pt
特になし	22.87%	24.31%	+1.44pt

アンケートとのクロス集計

アンケートの回答数

アンケートの回答において、同一人物による複数回答が確認された。この場合は期間中における最後の回答を有効回答として採用。結果、277の有効回答が得られた。

また、アンケート記載のメールアドレスで Nature 側の DB と突合を試みたが6割程度しかマッチできなかったため、氏名による照合を行っている。同一の名字で男女の異なる名前、すなわち夫の名義で参加登録をする一方でアンケート回答は妻名義で行っていると思われるケースが確認されたが、幸いこのケースと思われる参加者はすべて照合が可能であった。

可能な限りの照合を行ったが、参加者との紐づけができなかった回答が3件残った。参加者の確認が取れた最終的な有効回答はこの3名を除き274となった。またこの有効回答274件のうち、6月、7月、8月の消費電力集計対象となっている参加者数はそれぞれ168、220、246名で、6月～8月のデータが揃っているのは166名であった。各選択肢について、選択した参加者と選択しなかった参加者のうち、6月～8月のデータが揃っている166名について、クロス集計を行った。

節電態度×実績

Q: 今回の実証実験のモニターに応募した理由について教えてください。（複数回答可）

ほとんどの選択肢で、選択した参加者の方が消費電力の増加幅が多めという結果になっている。

A: 「Nature Remo E2 lite（電力量の見える化機器）」に興味を持ったから。

表11 応募理由（見える化機器への興味）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	105	320.6	375.6	412.6	394.1	73.5	22.93%
非選択	61	321.4	362.8	407.0	384.9	63.5	19.76%

A: 「Nature Remo Lapis（エアコンの自動制御機器）」に興味を持ったから。

表12 応募理由（自動制御機器への興味）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	70	341.0	386.1	420.8	403.5	62.5	18.32%
非選択	96	306.2	359.8	403	381.4	75.2	24.55%

A: 電気代を安くしたいから。

表13 応募理由（電気代を安くしたい）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	74	328.2	380.7	420.2	400.5	72.3	22.01%
非選択	92	315	363	402.8	382.9	67.9	21.55%

A: 環境に配慮した行動をしたいから。

表14 応募理由（環境配慮）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	49	299	350.8	393.2	372	73	24.40%
非選択	117	330	379.3	417.8	398.6	68.5	20.76%

A: 無料だったから。

表15 応募理由（無料だったから）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	71	315.1	362.5	406.2	384.4	69.2	21.96%
非選択	95	325.2	377.2	413.8	395.5	70.3	21.61%

Q: 日ごろから気候変動や環境問題への関心がありますか？

ポジティブな回答ほど消費電力の絶対値および6月差分ともに増える結果となっている。

表16 気候変動や環境問題への関心ごとの消費電力量と変動比

選択肢	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
ない	1	153	142.7	186	-10.3	33	21.57%
あまりない	10	289.1	331.3	341	42.3	51.9	17.95%
まあまあある	85	312.2	357.1	382.1	44.9	70	22.42%
ある	70	338.4	396.6	426.8	58.1	88.3	26.09%

Q: 今回の実証実験において、無理せず、日常的に省エネに取り組むために、効果的だと感じたことはどんなことですか。 (複数選択可)

電力量の見える化を選択した人が多いが、選択した人のほうが消費電力量が増える結果となっている。

エアコンの自動制御が次点で多かった。Nature Remo Lapis のオートエコ機能に関しては FA での回答でも評価が良かったため、自動で温度調節して勝手に節電してくれるというのは非常に有効な機能なのだと想われる。

通知に関してはもともと消費電力の多い人が選択する傾向が強く出ており、7月8月の電力量の絶対値も多くなっているが、消費電力の増加比率で見ると抑制には貢献できていそうである。

A: 電力量の見える化

表17 効果的と感じた取組み（電力量の見える化）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	85	329.8	388.2	428.8	408.5	78.7	23.86%
非選択	81	311.5	352.8	391.4	372.1	60.5	19.43%

A: エアコンの自動制御

表18 効果的と感じた取組み（エアコンの自動制御）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	65	323.9	374.4	407.6	391	67.1	20.71%
非選択	101	319	368.6	412.5	390.6	71.6	22.45%

A: 通知が届くこと

表19 効果的と感じた取組み（通知）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	44	366.8	423.3	452.2	437.8	70.9	19.34%
非選択	122	304.3	352	395.5	373.7	69.4	22.81%

A: 効果的な取り組みはなかった

表20 効果的と感じた取組み（効果的な取組みはなかった）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	33	322.5	370.5	418.8	394.7	72.2	22.40%
非選択	133	320.5	371	408.5	389.7	69.2	21.60%

Q: どのような企画や発信があると、省エネ（再エネ・創エネ）に取り組むきっかけや後押しになると感じますか？（複数選択可）

A: 行動の成果（節電量、CO2削減量など）の見える化

表21 省エネのきっかけ・後押しになると感じる取組み（行動の成果の見える化）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	99	319	375.5	415.4	395.5	76.4	23.96%
非選択	67	323.6	364	403.4	383.7	60.1	18.56%

A: 補助制度のわかりやすい紹介

表22 省エネのきっかけ・後押しになると感じる取組み（補助制度紹介）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	60	339.5	396.4	442.1	419.3	79.8	23.50%
非選択	106	310.4	356.5	392.7	374.6	64.2	20.68%

A: 具体的な節電方法の紹介

表23 省エネのきっかけ・後押しになると感じる取組み（節電方法紹介）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	78	342	402.5	439.1	420.8	78.8	23.02%
非選択	88	302.1	342.9	385.3	364.1	61.9	20.49%

A: 実際に取り組んでいる人のインタビュー記事

表24 省エネのきっかけ・後押しになると感じる取組み（インタビュー記事）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	9	390	432.1	422.5	427.3	37.3	9.56%
非選択	157	316.9	367.4	409.9	388.6	71.7	21%

A: 節電することでポイントがもらえる

表25 省エネのきっかけ・後押しになると感じる取組み（節電ポイント）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	105	296.3	342.1	376	359	62.8	21.18%
非選択	61	363.3	420.5	470	445.3	82	22.58%

通知×実績

Q: 【通知について】省エネ行動をおこなうきっかけとなった通知があれば、教えてください。
(複数選択可)

実証結果の章で述べた通り、通知自体は節電に効果があったが、通知のコンテンツはあまり節電の成果に繋がっていない可能性が高い。

通知で参加者の背中を押す効果はあったが、節電の方法は教えられたことを実行するのではなく、参加者が各自のライフスタイルに合わせて考えて実行したほうが効果的だったのではないかと考えられる。

A: 機器の機能紹介

表26 省エネ行動につながる通知（機器の機能紹介）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	31	314.6	366.3	408.3	387.3	72.7	23.10%
非選択	94	343.8	396.7	433.9	415.3	71.4	20.78%

A: 節電行動の紹介

表27 省エネ行動につながる通知（節電行動紹介）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	42	309.2	360.3	403.1	381.7	72.5	23.43%
非選択	83	350.4	403.7	439.9	421.8	71.4	20.37%

A: モニター参加者の電力使用量

表28 省エネ行動につながる通知（モニター参加者の電力使用量）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	26	340.8	378.6	408.9	393.7	52.9	15.53%
非選択	99	335.5	391.9	432.5	412.2	76.7	22.86%

A: 特ない

表29 省エネ行動につながる通知（特ない）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	49	376.1	439.2	480.5	459.9	83.7	22.26%
非選択	76	311.1	356.9	393.4	375.1	64	20.58%

見える化サービス利用×実績

Q: 契約中の電力会社に「電力量の見える化」のサービスはありますか。／日ごろ、そのサービスを使って電力を見ていますか。

見える化サービスを使っていると消費電力が少なくなる傾向が見てとれる。

表30 見るかサービスの利用有無ごとの消費電力量と変動比

見える化サービス	サービスの使用	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
ある	見ている	80	303.9	350.9	395.9	373.4	69.5	22.88%
	見ていない	16	334.2	346.1	389.8	367.9	33.7	10.08%
ない・わからない		70	337.3	411.9	493.3	452.6	115.3	34.20%

Q: 【Remo E2 liteについて】週に何回程度、電力使用量を確認しましたか。

表31 電力使用量の確認頻度ごとの消費電力量と変動比

選択肢	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
確認していない	5	220.5	267.1	305.1	286.1	65.6	29.72%
週1～2回	34	307.3	356.7	401	378.8	71.6	23.29%
週3～4回	16	341.9	407	449	428	86.1	25.19%
週5回以上	14	335.7	401.7	454.1	427.9	92.2	27.47%

自己認識×実績

A: 実証期間中、無理せず、日常的に省エネ(※)に取り組むことができましたか？

参加者の自己認識と実際の節電実績は概ね正の相関。まさに見える化の効果そのものである。

表32 参加者の自己認識ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
できた	44	260	302.7	331.6	317.1	57.2	21.99%
まあできた	88	346.4	398.3	442.8	420.5	74.2	21.41%
あまりできなかった	27	330.3	386.3	436.1	411.2	80.9	24.48%
できなかつた	4	435.3	523.3	515	519.1	83.8	19.25%

※3件回答が得られていないため、サンプル数の総計が**163**となっている。

本報告書の表に掲載している数値は、端数処理せずに各値を算出したのち、最後に四捨五入しているため、数値が一致しない場合があります。